

2027年3月期 第1四半期決算概要 補足説明資料

2026年8月6日



NIHON SEIKO CO.,LTD.

日本精鋁株式会社

証券コード：5729（東証スタンダード市場）

2026年度第1四半期 連結決算概要

連結売上高、連結各利益は前年同期比、減収減益

* 連結売上高：9,393百万円、前年同期比13.0%減収

* 連結各利益：営業利益は538百万円、前年同期比81.3%減益、純利益は357百万円、同81.8%減益

* 2026年度業績予想に対する進捗率：売上高は27.3%、営業利益は31.5%、純利益は31.9%

(単位：百万円)

連結業績	2025年度第1四半期	2026年度第1四半期	増減率	2026年度業績予想	進捗率
売上高	10,793	9,393	▲13.0%	34,400	27.3%
営業利益	2,878	538	▲81.3%	1,710	31.5%
経常利益	2,839	528	▲81.4%	1,670	31.6%
四半期純利益	1,967	357	▲81.8%	1,120	31.9%

セグメント別決算概要

アンチモン事業

	2025年度第1四半期	2026年度第1四半期	増減率
売上高（百万円）	8,416	5,003	▲40.6%
セグメント利益（百万円）	2,779	157	▲94.3%
販売数量（トン）	1,090	1,139	+4.6%

- * 売上高は前年同期比40.6%減収
製造業全般の生産がおおむね好調に推移し販売数量は増加したものの、アンチモン地金価格の下落（前年同期比約55%下落）に伴う販売価格の低下が大きく影響し、減収
- * セグメント利益は前年同期比94.3%減益
販売価格の低下に加え、在庫の影響なども作用し大幅な減益

金属粉末事業

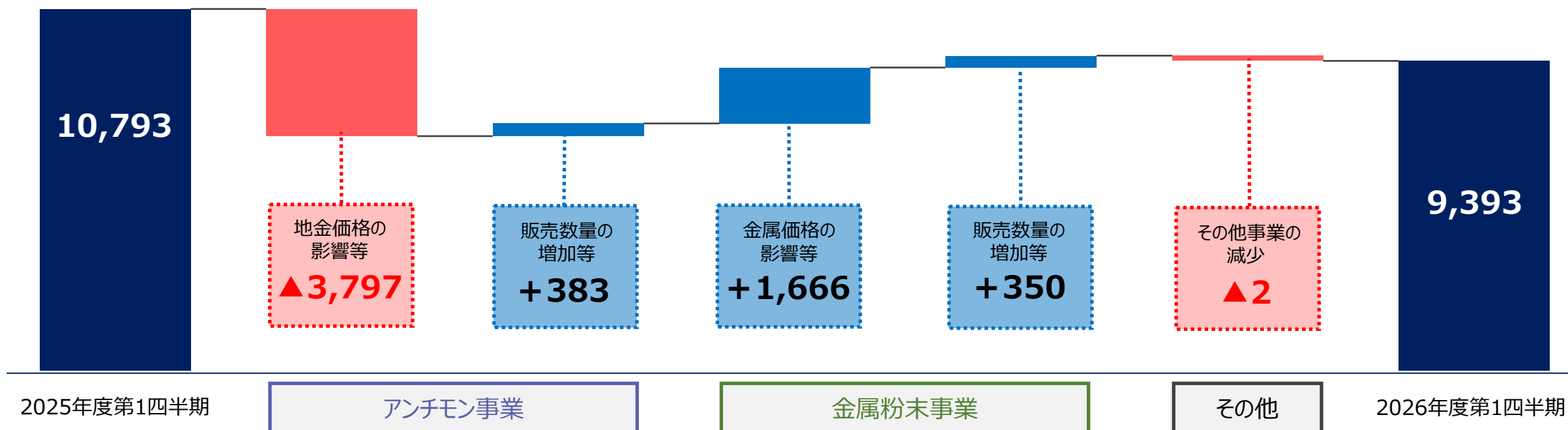
	2025年度第1四半期実績	2026年度第1四半期	増減率
売上高（百万円）	2,363	4,379	+85.3%
セグメント利益（百万円）	86	371	+328.4%
販売数量（トン）	513	589	+14.8%

- * 売上高は前年同期比85.3%増収
電子部品向け販売はハイエンドスマートフォンやAIサーバー市場向けが、粉末冶金向け販売は自動車・家電部品向けが好調に推移し、販売数量が増加したことや原料金属価格の上昇に伴う販売単価の上昇から大幅な増収
- * セグメント利益は前年同期比328.4%増益
販売数量・受注の増加に伴う操業度の改善などが作用し、大幅な増益

売上高の増減要因

- * アンチモン事業：製造業全般の生産好調により販売数量は増加したものの、地金価格の大幅下落に伴う販売価格の低下により減収
- * 金属粉末事業：電子部品向け、粉末冶金向けの販売数量が前年同期比で増加したことや、原料金属価格の上昇に伴う販売単価の上昇により大幅な増収

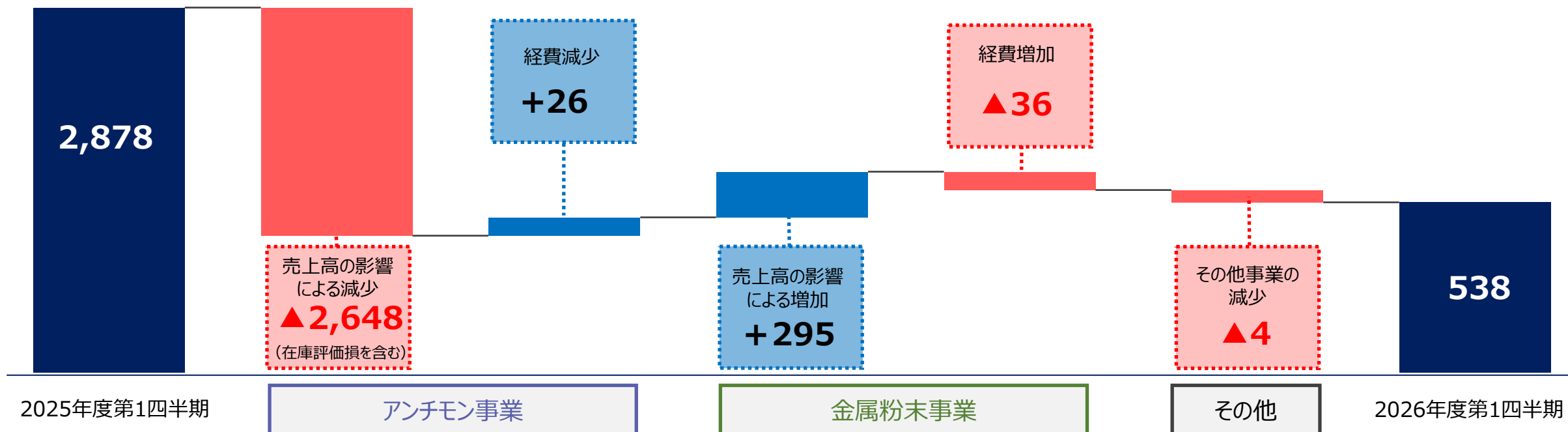
(単位：百万円)



営業利益の増減要因

- * アンチモン事業：販売価格の低下が利益を圧迫したことに加え、在庫の影響などもマイナスに作用したため、前年同期比で大幅な減益
- * 金属粉末事業：販売数量の増加や、それに伴う操業度の改善などが利益面に大きく寄与したことにより、前年同期比で大幅な増益

(単位：百万円)



四半期別 セグメント別 実績と予想

アンチモン事業 実績と予想

	2025年度 第1四半期 実績	2025年度 第2四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	2025年度 第4四半期 実績	2025年度 合計 実績	2026年度 第1四半期 実績	2026年度 第2四半期 予想	2026年度 第3四半期 予想	2026年度 第4四半期 予想	2026年度 合計 予想
売上高（百万円）	8,416	7,520	7,716	5,721	29,373	5,003	11,347			16,350
セグメント利益（百万円）	2,779	1,865	1,258	▲511	5,391	157	753			910
販売数量（トン）	1,090	945	932	995	3,962	1,139	→			→

金属粉末事業 実績と予想

	2025年度 第1四半期 実績	2025年度 第2四半期 実績	2025年度 第3四半期 実績	2025年度 第4四半期 実績	2025年度 合計 実績	2026年度 第1四半期 実績	2026年度 第2四半期 予想	2026年度 第3四半期 予想	2026年度 第4四半期 予想	2026年度 合計 予想
売上高（百万円）	2,363	2,520	2,926	3,644	11,453	4,379	12,855			17,234
セグメント利益（百万円）	86	52	196	319	653	371	429			800
販売数量（トン）	513	540	597	541	2,191	589	→			→

前提条件

- * アンチモン地金価格は、4月中旬以降需要低迷で下落し、第1四半期平均価格は、トン当たり約26,350ドル。第2四半期以降は期初設定価格のトン当たり24,000ドルを前提
- * 銅の第1四半期平均国内建値は、キログラム当たり2,219円。第2四半期以降は期初設定価格のキログラム当たり2,130円を前提

前提条件	中期経営戦略公表時点 (2025年3月26日)	2026年度第1四半期 実績	2026年度第2四半期～第4四半期 前提条件※
アンチモン地金 (US\$ / トン) ※	39,500	26,350	24,000
銅 (円 / kg) ※	1,459	2,219	2,130
為替 (円 / ドル)	148	160	155

※アンチモン地金は国際相場、銅は国内建値に基づく

※2026年度第2四半期～第4四半期の前提条件は平均値



連結貸借対照表

主な増減要因

流動資産

- ・ 現預金：▲1,013百万円
- ・ 売上債権：+208百万円
- ・ 商品及び製品：▲853百万円
- ・ 原材料及び貯蔵品：▲227百万円

固定資産

- ・ 有形固定資産：+222百万円

負債

- ・ 支払手形及び買掛金：+91百万円
- ・ 未払法人税等：▲1,205百万円
- ・ 長期借入金：+60百万円

純資産

- ・ 利益剰余金：▲205百万円

(単位：百万円)

	2026年6月末	増減 (2026年3月末比)		2026年6月末	増減 (2026年3月末比)
現預金	5,668	▲1,013	仕入債務	2,306	+150
売上債権	3,544	+208	有利子負債	2,719	▲34
棚卸資産	6,966	▲860	その他流動負債	2,803	▲1,125
その他	756	+276	その他固定負債	433	▲9
流動資産合計	16,935	▲1,389	負債合計	8,263	▲1,019
有形固定資産	5,894	+222	資本金・資本剰余金	1,615	0
無形固定資産	107	▲10	利益剰余金	13,661	▲205
投資その他	559	▲55	自己株式	▲149	0
			包括利益累計額	106	▲6
固定資産計	6,562	+157	純資産合計	15,234	▲212
資産合計	23,498	▲1,231	負債・純資産合計	23,498	▲1,231

連結キャッシュ・フロー

主な増減要因

営業キャッシュ・フロー

- ・ 税金等調整前四半期純利益：+522万円
- ・ 減価償却費：+148百万円
- ・ 棚卸資産の減少額：+861百万円
- ・ 仕入債務の増加額：+146百万円
- ・ 売上債権の増加額：▲208百万円
- ・ 未払消費税の減少額：▲527百万円
- ・ 法人税等の支払額：▲1,247百万円

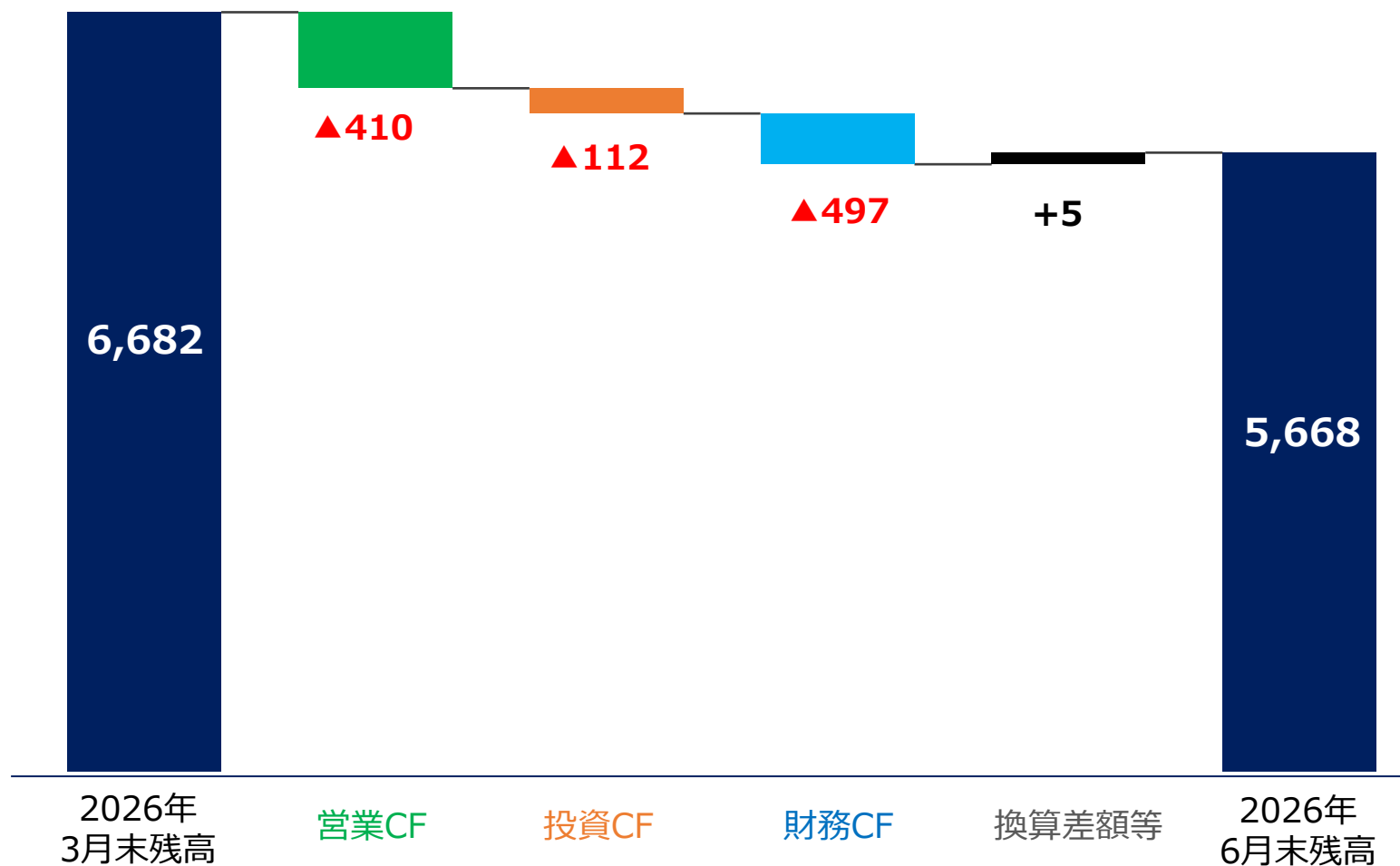
投資キャッシュ・フロー

- ・ 有形固定資産の取得による支出：▲108百万円

財務キャッシュ・フロー

- ・ 短期借入金の減少額：▲100百万円
- ・ 長期借入金による収入：+200百万円
- ・ 長期借入金の返済による支出：▲127百万円
- ・ 配当金の支払額：▲462百万円

(単位：百万円)



将来予測について

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。

